

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22		香川県と協議をおこない、指導訓練室や遊戯室など法令で定められた基準以上のスペースを確保しております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	22		法律の定めた配置数以上の職員数を配置しております。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	19	3	遊ぶ部屋、勉強する部屋を分け、療育室も色で区切ることで分かりやすい環境となるよう工夫しております。今後も設備を含め、より過ごしやすい環境を整えられるよう努めてまいります。	遊ぶ部屋、勉強する部屋を分け、療育室も色で区切っているの分かりやすい環境ではあると思いますが、設備などより環境を整えていけるよう努めてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22		室内は採光が多く、常に明るいつながりになっております。療育スペースと余剰スペースを分け、児童が活動によって切り替えられるようになっています。毎日の掃除・消毒も欠かさずおこなっており、清潔で快適な環境づくりに努めております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22		完全な個室としては相談室や図書室がありますので、必要に応じて利用できるようにしております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	22		毎月リフレクシオン会議を実施し、振り返りをおこないながら業務改善や情報共有をしております。会議の内容は記録し、当日参加できていない職員が確認したり、あとから振り返ることができるようにしております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22		年に1度、保護者様アンケートにご協力いただき、いただいたご意見・ご意向を職員間で協議・検討し、改善に努めております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22		定期的な職員との面談をおこなったり、日々の業務に対する気づきや情報を伝えやすい環境づくりに努めております。職員の連絡ノートも情報共有に活用しております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	20	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22		事業所内にて、本社配属の動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	22		支援プログラムを作成し、令和8年度に向けた公表準備をしております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22		6か月ごとに丁寧にアセスメントをおこないながら、発達状況や課題を明確にし、支援計画に反映できるよう心がけております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22		児童の様子を職員間で共有しながら現状を把握し、モニタリングやアセスメントの情報を共有し、適切な計画になるよう努めております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22		支援計画作成後は、会議に参加できていない職員にも確認してもらい、計画に沿った療育活動ができるよう努めております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22		社内共通様式のアセスメントシートを使用し、言語面・社会性・身辺自立についてなど、幅広く聞き取りを行い、保護者様のご意向や目標課題など設定し、支援計画に反映できるよう努めております。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22		支援計画はガイドラインに基づいて、「本人支援」「家族支援・子育てサポート支援」「移行支援」を設定し、5領域に対する目標も細かく設定し、具体的な支援内容を設定するよう努めております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	22		児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士それぞれの視点で、児童に対して最適な活動プログラムとなるよう立案し、検討・振り返りをおこない、職員間で共有しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22		活動目標は随時手作りの教材を導入し、指示を使う目標に対しても、いろいろな教材を使って、楽しみながら取り組めるようにしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22		個別の療育のほか複数療育も積極的に取り入れたり、余剰スペースで手遊びや読書などの集団活動も取り入れるようにしております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22		支援前での打ち合わせは難しいですが、一日の役割分担を設定しておりますので、職員各自で確認し、疑問点などは都度解消しながら、連携して支援に努めております。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	22		利用児童の様子は共有し、気づいた点や以降の支援に関わることは、その日不在の職員にも伝わるよう、連絡ノートや伝言板を使い、共有しております。また、支援で困ることがある時は職員間で相談し、より良い支援が継続しておこなえるよう努めております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22		療育時の様子については必ず記録を残し、振り返り、次の支援につなげられるように活かしております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを必要と判断し、適切な見直しを行っているか。	22		6か月ごとにモニタリングをおこない、児童の現状に合わせて、適切な計画になるよう見直し・作成しております。		
	関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	22		サービス担当者会議には基本的に児童発達支援管理責任者が出席しますが、事前に職員間で児童の様子を確認し、会議後に情報を共有しております。	
		25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22		事業所の前にある、もりもとこどもクリニック様と協力医療機関として連携し、年2回の内科検診を実施しております。各市町村とも連携連携を取りながら支援に努めております。	
26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		22		事業所を併用されている方については、必要に応じて情報交換や連携をおこなっております。各園とも適宜関係機関連携の機会を持ち、支援内容や園・家庭での様子を共有し、同じ方向性で支援できるよう努めております。		
27 就学時の移行には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		22		就学時には、ご要望に応じてCOMPASSでの支援内容を学校に伝えております。適宜担当者会議や関係機関連携の機会を設け、情報共有に努めてまいります。		
28 (28～30は、センターのみ回答)					地域全体の質の向上に向け、今後は地域との関わりを密にし、児童発達支援センターとしての役割を果たせるよう努めてまいります。	
29 質の向上を図るため、積極的に専門員や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		22		事業所内では作業療法士・理学療法士の助言を常習受けられる環境にあります。	外部研修にも積極的に参加し、研修内容を職員間で共有できるよう努めております。	
30 (自立支援)協議会など部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		22		自立支援協議会に参画させていただいております。児童デイ部会の企画運営にも携わらせていただき、地域との連携強化に努めております。	児童発達支援センターとして、自立支援協議会をはじめ、地域との連携を強化し、役割を果たしているよう努めてまいります。	
31 (31は、事業所のみ回答)						
32 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		22		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		
33 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		10	12	地域の各園から利用いただいております。連携を図りながら支援に努めております。	コンパス中讃センターとして、地域の園との交流機会は作れていません。	
保護者への説明等	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	22		連絡帳や送迎時に児童の様子をお伝えし、ご家庭や園での様子をお聞かせいただき、現状に対する共通理解に努めております。		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	21	1	事業所での療育だけでなく、ご家庭での過ごし方に関するお困りごとにも寄り添い、共に解決策を模索しております。	事業所からのペアレントトレーニングは具体的に実施できておりませんが、ご要望があれば機会を設け、情報提供ができるよう努めてまいります。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22		児童発達支援計画を作成する際には、丁寧にアセスメントをおこない、日常生活の様子を細かく聞き取りながら、課題を確認し、保護者のニーズを計画に反映できるよう努めてまいります。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	22		立案した計画は、保護者様と読み合わせ、課題や目標、支援方法を確認し、同意をいただいております。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要と必要と支援を行っているか。	22		半年ごとのモニタリングだけでなく、保護者様とお会いする機会を大切にし、現状のお困りごとを真摯に受け止め、解決に向けて取り組んでおります。		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	20	現時点では、保護者会や父母の会などの交流機会は設けておりません。	現時点で保護者同士の交流機会は設けておりませんが、ご要望に応じて機会を設けられるよう努めてまいります。	
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがスムーズに、場合によっては迅速かつ適切に対応しているか。	22		保護者様からのご相談や苦情は、窓口を設置し、迅速にご案内しております。申し入れには迅速・適切に対応しております。		
	41 定期的に通信等や発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22		定期的にCOMPASSより発行し、公式ウェブサイトやYouTubeで療育の様子を発信しております。		
	42 個人情報に関する取扱いに十分留意しているか。	22		個人情報に関する書類は厳重に管理して保管し、取り扱いには厳重に配慮しております。		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22		児童には目線を含め、わかりやすい言葉で簡潔に伝えるようにし、保護者様も必要に応じて電話や対面での連絡を取り、情報共有に努めております。		
44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	20	現時点で、事業所の行事に地域の方をお招きすることはできておりません。	近隣住民の方を招いての行事などは企画できておりませんが、随時見学などはお受けしており、開かれた事業所を目指しております。		
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22		各マニュアルを作成し、従業員に周知するとともに、事業所玄関に掲示し、保護者様にもご覧いただけるようにしております。研修・訓練をおこない、発生に備えております。		
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22		業務継続計画を策定し、備蓄の見直しや避難訓練を定期的実施し、災害に備えております。		
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	22		ご契約時に丁寧にアセスメントをおこない、持病や服薬状況を把握し、てんかん等の内容は職員間で共有・確認しております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	22		アレルギーについてもアセスメント時に確認し、職員間で共有しております。事業所内でおやつ等の提供はしており、医師の指示書に基づく対応はしております。		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その安全な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	22		安全計画を作成し、事業所内の環境整備、備品備蓄の確保、マニュアルの見直しを備え、避難訓練も定期的実施し、安全管理に努めております。		
50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	22		保護者様にはマニュアルをお見せいただき、緊急時の連絡先も定期的確認し、連携を図っております。避難訓練の様子は事業所だよりに掲載し、情報発信をおこなっております。			
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	22		事業所については職員間で共有し、報告書にまとめるとともに職員もも閲覧・振り返りができるようにし、再発防止に努めております。			
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22		全従業員が研修を受講し、虐待防止の理解と意識向上に努めております。外部研修にも積極的に参加してまいります。			
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22		身体拘束に関する研修を全従業員が受講し、理解と意識の向上に努めております。原則として身体拘束はございませんが、生命または身体を保護するためにやむを得ないと判断される場合には、保護者様へ十分に説明し、承諾を得たうえで、児童発達支援計画に記載し、適切に対応してまいります。			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。